



Faculty of International Studies



“Let's open the door
to the world
through languages!”

ことばで世界の扉をひらこう！

“From OSU to the world by learning languages
and discovering different cultures!”

ことばを学び、異文化を発見し、大産大から世界へ！



国際学科

実践的な言語能力を身につけ、豊かな国際センスを磨く

国際学部国際学科では、国際人としての発信力を持つとともに、国際化が進む地域社会にも目を向け、自らの暮らす社会を多文化共生の視点から見つめられる人材を育てます。

教育の中心は、少人数での外国語学習や体験型学習などの実践的な学びと、グループ討論や問題解決型学習を通じた主体的な学び。さらに、国内外でのフィールド演習など経験に根ざした深い学びの機会も提供。こうした学習を通じ、グローバルな視野のもとに、自文化の発信や身近な国際化に貢献できる力を養います。



3つの特長

Point 1 》 語学に対する**知的好奇心**があればOK!

Point 2 》 「総合教養科目」「専門教育科目」「実践教育科目」の3つの柱でじっくり専門性が高まる

Point 3 》 語学を通じて、**社会活動に貢献**できる人へ

学びのポイント

「少人数制×ネイティブ・スピーカー」！
語学力が確実にアップ

少人数制クラスで英語をはじめ日本語、中国語、フランス語、ドイツ語、朝鮮語などを徹底的に勉強しましょう。また学内に設置されているランゲージ・カフェでは、覚えた外国語を実際に使ってネイティブ・スピーカーと直接話ができます。

7カ国などと提携。世界中がキャンパスに！
海外研修、留学制度が充実

本格的な長期留学から2〜3週間の短期留学まで制度が充実しています。この機会を活かして世界中を体験しましょう。海外での経験を経て、その国、その地域の文化を理解することができれば語学がさらに楽しくなります。

哲学、心理学、法学からアニメ、マンガ、ゲームまで！
国際センスを身につける学際的学び

語学だけでなく、哲学や心理学、社会学、歴史学といった国際センスを身につけるさまざまな分野の授業が選択できます。また、アニメやゲーム、マンガ、音楽、映画など、私たちを取り巻く日本文化を深く知るとともに、世界の文化についても勉強してみましょう。



Interview

ゆっくり、でも立ち止まらず中国語を楽しんでほしい

●大阪産業大学
国際学部国際学科准教授
べにこ よしえ
紅粉 芳恵

日本語ネイティブという立場から、自分の経験を生かして中国語を教える紅粉准教授。指導においては発音を重視し、学生にはつねに「大きい声を出して発声しよう」と声をかけています。より分かりやすい授業を追求する姿勢や、そのための方法について伺いました。

まず中国語の特徴をつかみ
現地で応用力を磨く

中国語コースでは、1年次前期には、まず中国語の発音表記法(ピンイン)が読めるようになることを目標とし、後期からはネイティブの先生の指導も受けながら、HSK3級の高得点を目指します。

初学者はまず四つの音の高低を示す「声調」を身につけなければなりません。そこで授業では声調のコツをつかむために、関西弁との比較を行っています。例えば「それ、何？えーなあ」というフレーズの中には、四つの声調がすべて登場します。関西人にとって親しみやすいこの原則をまずマスターして、正確な発音を身につけてほしいですね。

2年次の秋からは、上海外国語大学での1年間の留学がスタートします。現在も国際学部2期生7名が留学中です。SNSのチャットで随時報告が来るので、彼らが生きた中国語を学び、日々を楽しんでいる様子分かります。

2019年の夏に留学を終えた学部1期生の語学力は予想以上に伸びていました。また、自ら海外に飛び込んで学んできただけあって、度胸もずいぶんつけてきま



したね。帰国後も中国語スタッフとして百貨店などで働き、語学力の維持に努めているようです。

学生のレベルアップのために
自分自身もブラッシュアップ

中国語力を伸ばすために、中国語ネイティブの先生の指導を受けるほか、ICTの上手な活用法などを研究しています。今までにも授業にスマホのアプリなどを使った学習法を採り入れてきましたが、今後も高校や他大学の先生たちと教え方をシェアし、指導力のレベルアップに努めていこうと考えています。

中国からの留学生との交流の機会が多いことは、中国語コースの学生にとってプラスです。中国人は積極的に話しかけてくるので、留学前からクラスが良い雰囲気になります。この環境を生かし、今の学生に合った指導法を追求していきたいですね。

中国語で好きな言葉は「不怕慢,只怕站」。意味は「ゆっくりでいい、でも立ち止まるな」。学生には自分のペースで語学、さらに人生を楽しんでほしいと思います。

べにこ よしえ
関西大学文学部卒業後、外国語専門学校や航空会社、旅行代理店などに勤務するかたわら、通訳案内業免許証(中国語)を取得。中国語と中国語教授法を深く学びたいと関西大学大学院に進学、博士(外国語教育学)。2012年から京都産業大学外国語契約講師、2017年に大阪産業大学国際学部国際学科准教授に着任、現在に至る。多数の中国語学習教材作成に携わる。

英語漬けのハードな毎日こそ
上達の大きなチャンスだった

きよもと かし
清本 昂史さん
国際学部国際学科3年生
出身高校：私立金光八尾高等学校

<留学先・期間>
米国・ワシントン州立
ワッコム・コミュニティ・カレッジ
2019年3月から8月

America

本格的な留学で自分を

国際学科特集 私たちの留学体験記

キャンパスでも街角でも
生きた韓国語を学べた

かんさき めい
神崎 芽さん
国際学部国際学科3年生
出身高校：兵庫県立伊丹北高等学校

<留学先・期間>
韓国・聖公会大学校
2018年8月から2019年8月

Korea

大きく成長させよう！

グローバル時代に生きる真の国際人を育成する国際学部。開設以来3年目となった今年は、3年生たちが初めての長期留学に挑戦しました。留学を通じて語学力を伸ばし、グローバルな友人関係を築き、それぞれの未来に向かう一歩を踏み出した2人に聞きました。



アジア人学生に刺激を受けて

国際学部に入塾して、何を始めようか迷っていたころ、相談に乗ってくれた先生に「本気で留学を考えてみては」と言われたのが、長期留学を決意したきっかけです。同じ留学をするなら、大学から経済的なサポートをもらいながら学ぼうと考え、一生懸命に勉強してTOEICで高得点を得て選考を通過しました。

留学先の大学があるベリンハムはワシントン州の郊外にあり、自然が豊かで、のんびりした雰囲気がある町です。ホームステイ先のご一家も本当に優しく、よい話し相手になってくれました。

カレッジでは少人数のクラスで、語学のほか、コミュニケーション学なども受講しました。ライティングでは自作エッセイをもとに討論を行うなど、多様な学びが経験できました。コミュニケーション学で学習したスピーチの組み立て方も役立つものでした。頑張っているアジア系留学生に刺激を受けながら学ぶ毎日ハードでしたが、次第に日本語を介さず直接英語で考え、話せるようになり、学ぶことが楽しくなってきました。

授業以外で楽しかったのはチャリティ・ウォークに参加したこと。新聞部所属の友人が書いてくれた記事が大学新聞に大きく掲載されたことは、いい思い出になっています。

帰国後も語学力をキープ

留学生生活を振り返ってみると、日本にいる時の何倍も勉強したと思います。くじけそうになったときも、クラスに独りの日本人として学ぶことをマイナスと捉えず、「英語漬けになれるいいチャンス」と考え、頑張りぬくことができました。自分が成長したと思うのは、TOEICのスコアが留学前より130点も伸びたことと、発音がよくなったことです。帰国後も英語力を維持するため、授業以外にインターネットで英語のスピーチを見たり、定期的にTOEICを受けたりしています。

英語の学習について、後輩からアドバイスを求められたら「基本を大切に」と言いたいです。私も留学前には、先生のサポートを受けて文法をしっかり勉強しました。努力すれば、必ず次につながると思います。



授業の中で国際交流

留学制度が充実していると知り、大阪産業大学国際学部を選びました。学びたかったのは朝鮮語です。Kポップが大好きで、翻訳や字幕に頼らずに曲を理解できるようになりたかったので、語学検定も受検しながら留学に向けて勉強を進めました。韓国の空港に降り立った時は「ついに来たんだ！」と胸が熱くなりました。

聖公会大学校では語学を中心に基礎から勉強しました。日本のほか、台湾やベトナム、ミャンマーなどから来ている学生たちは年齢の幅が広く、社会人も、大学院進学のために勉強している人もいました。朝鮮語で一生懸命話しているうちに仲良くなり、何人かとは今も連絡を取り合っています。

当初は文法などを先生から学ぶ授業が中心でしたが、次第に発表の場面が増えました。韓国と母国の風習の違いについて発表する機会には、節分の恵方巻きについてス



ピーチしました。それぞれの文化を理解し合う、興味深い体験でした。

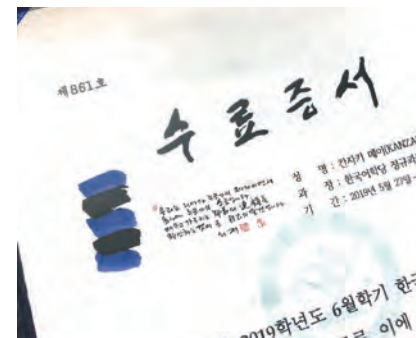
学ぶうちに聞き取る力が向上したので、今度は話す力を伸ばしたいと、授業以外でも積極的に会話をしようと努めました。そんな中で「日本からの留学生に街を紹介する」という企画で、テレビ番組に出演することもできました。韓国のテレビ局の方や、タレントさんとお話したことも楽しい思い出です。

あきらめないことが成功への道

半年が過ぎた頃から授業で要求されるレベルが上がってきて、悩んだ時期もありました。そんな時は、好きなカフェに行き気分を変え、モチベーションを高めて、翌日に臨みました。

留学を終えて一番強く感じるのは、あのとき頑張った本当によかったということです。留学を考えている後輩の皆さんにも「出発前は不安もあると思いますが、行ってみると楽しいことがいろいろあるよ」と言いたいです。語学力も非常に伸びました。帰国後、テレビで韓国ドラマなどを見ている、我ながらよく理解していると感じます。

卒業後は朝鮮語を活かして、日本にやってくるお客さまをおもてなしする仕事に就きたいと考えています。そのためにも留学で身につけた語学の実力をキープしようと能力試験の勉強を今も続けています。



部員一人ひとりがチームを
引っ張る気持ちで

目指せ、日本一!



間近に迫った関西、全国インカレに向けて、最後の調整を進めるバレーボール部。あきらめない心で目標に向かって歩み続けるチームのまとめ役、阪根彩斗キャプテンに聞きました。(※2019年11月7日に取材しました)

バレーボール部

部員数:40人
顧問:大槻 伸吾
監督:澤井 亨
活動場所:総合体育館
2019年の成績:春季リーグ、秋季リーグ=準優勝
西日本インカレ=ベスト8



高さを活かしたバレーを持ち味に

バレーボールの指導者だった父の影響で、小学校2年生の時からバレーボールを始まりました。面白くなってきたのは高学年になってからです。勝つ喜びを味わったことで、もっと頑張ろう、強くなりたいと練習に励むようになりました。

現在の目標は全国インカレで優勝し、日本一に輝くことです。そのために、かなり厳しいトレーニングを続けていますが、決して監督に言われて動いているのではなく、自分たちで決めたことなので、充実感をもって取り組んでいます。コートに集まると、みんなが学年の上下に関係なく、「自分がチームを引っ張っていくのだ」という意識をもって、常に自分から動き、声を出しています。

現在の練習のテーマは、「高さ」を活かしたチームづくりです。今までとは異なる、

全国の強豪チームに負けない強いチームをめざしています。チームの仲間一人ひとりが日本一になることを思い描き、モチベーションを高め、日々練習を重ねています。

心豊かなスポーツマンになろう

現在チームをたばねる澤井監督がバレーボール部を任された時、成績は低迷してい



ました。当時監督は「強くなるには、まず人間としての心の豊かさを持たなくては行けない」と考えたそうです。社会に出て、人々に喜ばれ、尊敬されるスポーツマンを育てたいという信念から、今のチーム作りが始まったと聞いています。この気持ちは今も変わらず、チームの中に脈々と流れていると思います。

もう4年生なので、秋の全国大会が終わ

ると引退し、3年生の新キャプテンにバトンタッチしなければなりません。今は、残された時間の瞬間瞬間を大切に、バレーボールをとことん楽しむつもりです。次期キャプテンには、部員一人ひとりの個性を大切に、新しいチーム作りに頑張ってもらいたいと思います。さらにチームが成長していくのかなと想像すると、とても楽しみです。



バレーボール部キャプテン
阪根彩斗さん
人間環境学部スポーツ健康学科4年生
出身高校:私立崇徳高等学校

相談しやすいセンターをめざして学生の立場で支援！

みなさんを全力でサポートします！
ぜひキャリアセンターへお待ちしています！

キャリアセンターの役割は就職支援だけではなく、進学や留学を考える方に対しても一人ひとりの生涯の幸せのために、学科担当者やキャリアカウンセラーが個別面談を実施します。一方、就活時期の変動に伴い学生のニーズも変化しています。学年別のガイダンスのほか、ミニ講座も多く開催。多彩なラインナップで学生のニーズに合った支援をめざします。

2 パターンのインターンシップへの対策

インターンシップの在り方にも変化が起こっています。従来3年次の夏季休暇を利用した『就業型インターンシップ』が主流でしたが、ここ数年は短期のインターンシップも増え、『採用直結型インターンシップ』ともいえるイベントも多く開催されるようになりました。キャリアセンターでは主として『就業型インターンシップ』の紹介等を行っており、参加予定者には「マナー講座」や「履歴書・エントリーシートの書き方講座」なども充実させています。業界や職種への理解を深めるだけでなく、社会人の方から直接のフィードバックを得ることができる良い機会となるため、インターンシップへの参加を積極的に推進しています。

また、秋には学内にて採用直結型のインターンシップを紹介するイベントを9回開催し、毎回約200名の学生が参加しています。

企業説明会

学内で開催する企業説明会は年間約740社。「ぜひ大産大の学生を！」という企業様に多く参加いただいています。今年2月の合同企業研究会には3日間で計270社の企業様にお越しいただき、大盛況のうち終了しました。本学の前身である大阪鉄道学校の強みを生かした『鉄道業界合同企業説明会』も毎年開催。例年鉄道好きが集結し、熱気あるイベントとなっています。

企業、卒業生、保護者の皆さんとの絆

キャリアセンターでは、企業様の採用動向を得るため、メンバー全員による企業訪問を年間1000社を目標に行っています。OBOGが在籍する企業様も多く、学内の企業説明会では卒業生からの貴重なアドバイスをいただけることもあります。また、保護者の皆さんへの情報提供や交流にも力を入れ、合同企業説明会の見学のほか、地区教育懇談会では企業の採用スケジュールの変化などに加え、「保護者の方ができる就職サポート」についてもお話をさせていただき、心強いサポーターとなっ

気軽に来てね！

主な就職支援プログラム

- キャリアガイダンス
- 業界研究セミナー
- インターンシップ
- 学内合同企業説明会
- 留学生対象合同企業説明会、就職ガイダンス
- キャリアカウンセラーによる個別面談・特別講座
- 就活スキルアップ講座



就職支援課一同

キャリアセンターを活用して理想の就職を実現

OB's voice

数々の就活支援を行い、親身な個別相談に力を入れているキャリアセンターに通い、先輩たちも次々と内定をつかんでいます。どのように活用して内定を得たのか。積水ハウス株式会社にて就職をした、卒業生の加藤潤也さんにお話を伺いました。

かとう じゅんや
加藤 潤也さん

就職先：積水ハウス株式会社

大阪市出身。大阪産業大学附属高等学校出身。2019年3月経営学部経営学科卒業。同年4月、入社。現在、大阪北支店 万博中央店に勤務。

積水ハウスに入社以来、営業を担当しています。現在の主な仕事は、上司とともにお客様を訪問し、よりよい住まいについて提案することです。何でも気軽に話していただき、満足のいく家づくりを実現していただけるよう、毎日、自分なりに努力しています。今後の目標は「加藤さんが担当だから、家を建てよう」と思っていたかのような、頼れる営業になることです。まだまだ勉強すべきことは多くありますが、自分が成長するためにも頑張ろうと思っています。

大学に入学して以来、授業にアルバイトにと毎日を楽しんでいました。そんな私が就職活動に本腰を入れるようになったきっかけは、3年生になった夏の初め、2人の友人とともにキャリアセンターを訪れたことです。対応して下さ

った皆さんが本当に親切で、役に立つお話を聞けたので、それから毎日、相談事がなくても通うようになりました。おかげで自分に向けた職種、業種も迷いなく絞りこむことができました。

その年の夏、積水ハウスのインターンシップを経験しました。いろいろな部署の方に出会いましたが、なかでも印象に残っているのは、人事担当の方に「元気で明るいのがいいね。ただし、マナーはもっと勉強してほしい」と、長所・短所をズバリと指摘してもらえたことです。ここで働きたいと強く感じるようになりました。就職活動期にはセンターのサポートを受けながら合同説明会に参加し、不動産業界を中心に数社の面接に臨みましたが、「ぜひ積水ハウスに」という私の熱意が伝わり、内定を得ることがで

きました。

内定後の報告会では、これまでの活動内容を後輩やその保護者の皆さんに伝えました。その時にアピールしたのは「キャリアセンターを最大限活用しよう」ということです。キャリアセンターに早い時期から通うことは、就職に対する意識を高め、知識を豊富にするために、本当に重要だと思います。時期によっては大勢の学生で混んでいる場合もありますが、どんな時も、少しの時間を見つけて一人一人の相談事に対応してくれますよ。これから就活に臨む後輩の皆さん、ぜひ頑張ってください！私も応援しています。

深夜まで真剣に自主学習

中学

7/11(木)～13(土)の3日間にわたり、勉強合宿を行いました。3グループに分かれて60分18コマの授業と、夜は自主学習に取り組みました。

一人ひとりが真剣に学習と向き合い、また自分の限界を超えようと深夜まで自習に励みました。

今回の勉強合宿をきっかけとし、今後の学習意欲・学力向上につながることを期待しています。



自然の中で 団結力を深め

中学

中学3年生のスポーツ宿泊体験が9月27日(金)～28日(土)に和歌山県北山村にて実施されました。
1日目はラフティング、2日目はキャニオニングを実施し、生徒はボートを漕いだり、透き通った川を泳いだり、登ったり、傾斜を滑ったりと、自然の中での活動を通じて、クラスの団結をより深めることができました。



心身を鍛練！

高校

普通科進学コース、スポーツコース1年生の夏季研修が8月28日(水)～30日(金)の3日間、広島県の「ツネイシしまなみビレッジ」で実施されました。
当該研修では、自然のもとで、学校や家庭では経験できないカッター訓練の他、座禅体験や陶芸体験等の体験活動を通じて、心身を鍛練し集団生活における規律、協調性を養うことを目的とし、さらには、クラスメイトや教員とのコミュニケーションを通じてクラスの連帯感を高めることも狙いとしています。特にスポーツコースの生徒は「しまなみ海道」の70kmに及びサイクリングを走破し、日常のクラブ活動とは異なる体験活動を通じて、心身を鍛練し集団生活における規律、協調性を養いました。



生きた英語に触れた修学旅行

高校

国際科グローバルコース2年生の修学旅行が7月9日(火)～17日(水)にアメリカ合衆国オレゴン州ポートランドおよびワシントン州シアトルで実施されました。

国際科の修学旅行は、アメリカ合衆国の自然と文化に触れ、アメリカ合衆国の人々と積極的に交流し国際感覚を養うとともに、生きた英語に親しみ、英語学習に対する意欲を高めることを目的としています。

生徒はMLS(サッカー)試合観戦、T-モバイルパーク、ボーイング工場見学及びAMAZON本社等の見学を楽しむとともに、ホームステイ先のホストファミリーや現地大学生との英語によるコミュニケーションを通じて、生きた英語に親しむことができました。



全力プレーに大きな拍手

9月27日(金)に体育祭を開催しました。今年も吹奏楽部の演奏で体育祭がスタート。選手宣誓はスポーツコースの生徒が行い、2000人を超える生徒が全力プレーで競技に取り組むことを誓いました。
我が校伝統の女子生徒による集団演技やスポーツコースによる棒体操では、校庭中にいるすべての人がその演技に見入ってしまうほど、今年も素晴らしい演技を披露していました。
また、今年は平成2年から破られていない100m走と、クラブ対抗リレーで陸上競技部が新記録を樹立しました。新記録が出た瞬間、会場中からたくさんの拍手と歓声が響き渡り、さらなる盛り上がりを見せました。



高校



ミュージカル 『リトルマーメイド』の 世界に感動

中学

高校

令和元年度の芸術鑑賞会が、9月4日(水)、6日(金)、13日(金)の3日に分けて行われました。

劇団四季とディズニーの新次元ミュージカル『リトルマーメイド』は、日本上演通算3000回を迎えた作品であり、驚異的な人気を誇ります。地上の世界に憧れる人魚姫アリエルが、人間の王子エリックに恋をし、未知の世界へ勇気を持って進んでいくプリンセスの恋と夢の冒険の物語です。生徒たちは本当に海の中にいるかのような生き生きとしたパフォーマンスに引き込まれ、華麗なダンスや魅力的な歌声、そして迫真の演技に魅了され、『リトルマーメイド』の世界を堪能していました。



生徒も先生も大活躍！

今年も大盛り上がり
の体育祭！
inラクトブドーム(大阪府立門真スポーツセンター)

10月26日(土)に中学校の体育祭が開催されました。今年度はクラス、学年の垣根を越えて、4色のチームに分かれての体育祭となりました。1年生は初めての体育祭を存分に楽しみ、2年生は昨年度とは異なるチーム分けの中で、他のクラスのメンバーとの友情を育み、3年生は開会宣言や準備体操で多くの活躍をしてくれました。また、3年生の女子によるリズムダンスは日頃の練習の成果を発揮した素晴らしいものでした。一部の種目には教員も参加し、会場は大いに盛り上がりました。保護者の方からも多くのご声援を賜り、子どもたちの大きな力になったと思います。



ユニークな競技も盛りだくさん

10月25日(金)に高校の体育祭が開催されました。開会宣言、選手宣誓、今年のインターハイの砲丸投げて優勝した2年生のアツオビン君による準備体操の模範のあと、競技がスタートしました。リレーや綱引きといったおなじみの競技に加えて、いろいろなおもしろい競技も盛りだくさんで、終始和やかな楽しい雰囲気の中、進行了ました。2年生女子生徒によるリズムダンスやIII類吹奏楽部のマーチング演奏は本校体育祭の定番の演目ですが、今年もまた感心しきりの素晴らしい演奏でした。またリレーや綱引きなどでは教員チームも参加し、会場は大いに盛り上がりしました。



仮装と英語で Let's Enjoy Halloween Party!

10月16日(水)にTOINアリーナにて中学1・2年生合同の英語でのハロウィンパーティーが開催されました。

2年生が企画・運営をして1年生を招待し、英語と一緒にビンゴ大会をしたりダンスを踊ったりして楽しみました。

中学1年生のコメント「先輩たちの仮装は色々工夫されていて素敵でした。来年は先輩たちに負けないように私たちが主体で頑張ります。」



今年のテーマは 「桐蔭の世界を伝えよう！」

高校

11月3日(日)に恒例の文化祭が行われ、多くの方がご来場くださいました。

今年の文化祭のテーマは「Let's introduce Toin World」です。令和の時代を迎え、今一度大阪桐蔭の世界を伝えようという思いが込められています。

文化祭は本館及びアリーナにて、展示発表や模擬店、ステージ発表が行われました。大阪桐蔭の文化祭は、文化祭実行委員や生徒会をはじめ、生徒が中心となってつくり上げたものです。生徒たちは、展示の案内や模擬店での販売・誘導など、積極的に文化祭に参加し、忙しく充実した一日を過ごし、大盛況の中で文化祭を終えることができました。



鳥人間コンテスト出場

鳥人間コンテスト2019滑空機部門に本学プロジェクト共育の1つ「鳥人間プロジェクト」が出場致しました。大会当日は大応援団が駆け付け、飛行前には大きな虹が出るなど、会場は大いに盛り上がりました。

当日の様子やプロジェクトメンバーへのインタビューmovieはこちらでチェック！



全日本学生体操競技選手権大会で種目別優勝

第73回全日本学生体操競技選手権大会で体操競技部の清水きりりさん(4年)が種目別の跳馬で優勝しました。



経済学検定(ERE)の大学対抗戦3位

大阪産業大学上級キャリアコースAチームが経済学検定(ERE)の大学対抗戦において、全国で第3位の成績を収めました。

※経済学検定(ERE)は、主として経済学部および社会科学系学部の学生を対象に、全国規模で経済学の数理的・理論的な基礎知識の習得程度と実体経済での応用能力のレベルを判定する試験です。



3×3バスケットボール アジア大会優勝

スポーツ健康学部の小栗瑛哉さん(1年)が3×3バスケットボール U-18日本代表に選出され、マレーシアで開催されたアジア大会で優勝しました。また、個人としても3ポイントシュートコンテストに出場し優勝しました。小栗さんは、この日本代表チームの主将を務め、初のアジアチャンピオンとなる素晴らしい快挙を成し遂げました。



少林寺拳法部が大健闘

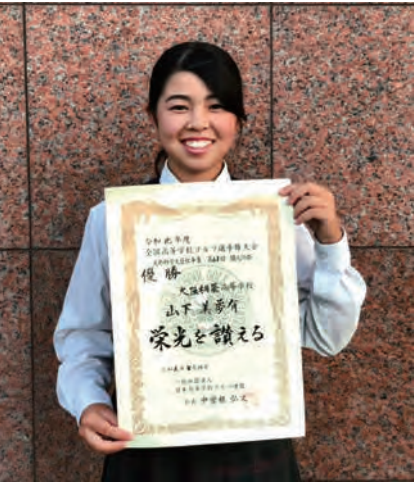
令和元年度 全国高等学校総合体育大会において下記の成績を収めました。

○男子規定組演武の部	1位	坪井 一真(高校1年)
		原 一志(高校1年)
○男子自由組演武級拳士の部	1位	久保 前(高校2年)
		中道 亮(高校2年)
○男子自由組演武有段の部	1位	玉井 良侑(高校2年)
		河原 真二(高校1年)
○男子自由単独演武有段の部	1位	小田 翔(高校2年)
○男子団体演武の部	1位	小田 翔(高校2年)
		玉井 良侑(高校2年)
		河原 真二(高校1年)
		御宮知大貴(高校1年)
○男子総合	1位	大阪産業大学附属高等学校
○女子規定組演武の部	1位	下窪 心暖(高校1年)
		建元 渚瑠(高校1年)



全国高等学校ゴルフ選手権大会優勝

2019年度全国高等学校ゴルフ選手権大会(文部科学大臣杯争奪 第63回女子個人の部)において、山下美夢有さん(高校3年)が優勝しました。



女子プロゴルフ最終テスト合格

また、山下さんは令和元年度女子プロゴルフ最終テストで、大阪桐蔭女子ゴルフ部初の高校生プロとなりました。今後は、来年度のプロゴルフツアー出場権を獲得するための予選大会に挑戦します。



プロ野球ドラフト会議で育成枠3位指名

2019年 プロ野球ドラフト会議において、中田 惟斗さん(投手・高校3年)がオリックス・バファローズから育成枠3位で指名を受けました。

陸上男子砲丸投げ 優勝

令和元年度 全国高等学校総合体育大会において、アツオビン ジェysonさん(高校2年)が男子砲丸投で16m89の自己ベストをマークし、優勝しました。



ラグビー部が全国高等学校ラグビーフットボール大会大阪府大会で優勝

第99回全国高等学校ラグビーフットボール大会大阪府大会でラグビー部は決勝で大阪朝鮮高級学校と対戦。66対5のスコアで勝利を収め、8年連続14回目の花園出場が決定しました。

ひたむきに、まっすぐに 夢を追いかける生徒を 応援したい

●大阪産業大学附属中学校高等学校 校長
ひらおか しんいちろう
平岡 伸一郎

30年を超える長きに渡り、大阪産業大学附属中学校高等学校、大阪桐蔭中学校高等学校で教鞭をとり、生徒たちの指導に当たってきた平岡伸一郎校長。充実した学校生活を送ってほしいと願う平岡校長の熱い想いを伺いました。



ひらおか しんいちろう 1960年広島県生まれ。東京理科大学理工学部卒業後、大阪産業大学高等学校大東校舎(現・大阪桐蔭高等学校)の理科教諭に着任。同校教頭、副校長、大阪産業大学キャリアセンター長などを経て現職に至る。高校時代はバレーボールに打ち込んでいたが、大学時代からはもっぱらスポーツ観戦が中心に。現在は、クラブ活動の練習や試合での生徒たちの勇姿を応援している。

悔いのない学校生活を送らせたい

小さい時から教職に憧れていましたが、東京理科大への進学を決める際には研究者という道も選択肢にありました。ちょうど環境庁(現在の環境省)が誕生したばかりの頃だったので、公害対策について研究したいと考えたのです。しかし、高3の時の受験で失敗し浪人している時、高校時代の自分を振り返って、有意義に過ごしていなかったことを猛省しました。そして「高校時代に戻りたいけれど、自分にはその機会はない。それなら自分の教え子には悔いのない高校時代を過ごしてもらいたい。自分の失敗の経験を生徒に伝え、同じ失敗をさせない」と思い、教員を目指すようになりました。

未来に向かって、羽ばたけ！

今、校長として思うのは、学園発祥校である本校には、小さいことを地道にコツコツ積み上げて、何かを成し遂げたいという強い思いが脈々と受け継がれているということです。それは、建学の精神「偉大なる凡人たれ」と繋がります。生徒たちの教育を通じて、この精神を次の世代にしっかりとつないでいきたいですね。本校は前身の大阪鉄道学校に始まり、昨年には創立90年を迎えた、歴史ある学校です。創設期から数えると、今や三代目のお子さん

が通ってくださるようにもなりました。同窓生の皆さんは、それぞれに素晴らしい思い出をお持ちでしょうが、今の学校を支える教員は、力を合わせて10年後、20年後に向けて頑張っています。これから入学してくる生徒には、先輩たちに負けない素晴らしい思い出を作ってもらいたいです。未来に向かって進み続けるために、今、この学校があるのは、先人たちがどんな風に歩んできたからなのか、そのことを改めてしっかり考えていきたいと思っています。

失敗は成功への始まりだ

生徒たちによく言うのは「夢に向かって」という言葉です。誰も、人生の中ではうまくいかないことがあるでしょう。失敗することもあります。考え方を変えれば、失敗は成功への道のりの始まりかもしれません。

中学時代に必ずしも優秀ではなかった生徒が本校に入学後頑張って、国立大学や難関私大に合格することが多くあります。彼らが夢の実現のため、毎日一歩ずつ積み上げた成果です。学業だけでなくスポーツにおいても、同じことが言えます。生徒たちには、どんなことであっても、チャレンジする勇気を持ち、高い目標に向かって頑張りが続けるとい、まさに建学の精神を体現してほしいと思います。

クラブ活動の記録

大阪産業大学

■バレーボール部

○2019年関西学生バレーボール連盟秋季1部リーグ戦(10/6～20各大学)：2位

■硬式野球部

○2019年度阪神大学野球連盟秋季リーグ戦(8/31～10/2南港中央野球場他)：2位(14戦8勝4負2分)

■日本拳法部

○第35回全日本学生拳法個人選手権大会(10/20名古屋千種スポーツセンター)

【男子個人戦】ベスト8：宮本直弥(4年)、出場：田中誠也(3年)

■柔道部

○全日本学生柔道体重別選手権大会(9/28～29秋田県立武道館)【-73kg】2回戦出場：吉井祐人(3年)、明先海(4年)【-81kg】出場：山本遼介(4年)、2回戦出

大阪産業大学附属高等学校

■陸上部

○第35回U20日本陸上競技選手権大会(10/20広島広域公園陸上競技場)【200m】5位：北浦稔(3年)

■チアリーディング部

○JAPANCUP2019チアリーディング日本選手権大会(8/23～25武蔵野の森総合スポーツプラザ)準決勝進出

■ウエイトリフティング部

○南部九州高校総体インターハイ『高松宮陽旗・第66回全国高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会』(7/30～8/3糸満市西総合体育館)【男子55kg級】優勝：安藤徹郎(3年)

○令和元年度第21回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会(7/20～21松本市総合体育館)【女子49kg級】6位：森田里香(2年)

大阪桐蔭高等学校

■男子サッカー部

○第72回近畿高等学校サッカー選手権大会出場(6/15～17みきぼうパークひょうご第2球技場他)

○高円宮杯JAFU-18サッカープリンスリーグ2019関西(10/11現在7位)

■女子サッカー部

○令和元年度第74回大阪高校総合体育大会〈女子の部〉兼第28回全日本高等学校女子サッカー選手権大会関西大会大阪予選)：3位

■硬式野球部

○秋季近畿地区高等学校野球大会(10/20～11/4佐藤薬品スタジアム)：準優勝

場：脇谷康行(3年)【-90kg】出場：菊池大樹(1年)

■スキー競技部

○2019年度全関西秋期季節外競技大会(10/27希望が丘文化公園)【クロスカントリー競技】4位入賞：進賀涼平(3年)

■剣道部

○第67回関西学生・第49回関西女子学生剣道優勝大会(9/22舞洲アリーナ)【男子の部】3回戦出場 ※敗

者復活戦に勝利し全日本出場を決める

【女子の部】2回戦出場

■男子バスケットボール部

○2019年度関西学生バスケットボールリーグ戦(9/3～11/3ノーリツアリーナ和歌山他)【2部リーグ】4位

※2部残留

■空手道部

○第62回全関西大学空手道選手権大会(10/6大阪商業大学)【男子団体戦】：出場 ※敗者復活戦で勝利し全日本出場を決める ※1部残留

■ゴルフ部

○2019年度 関西高等学校ゴルフ選手権大会(6/22～23グランパール京都ゴルフ倶楽部)【男子】4位：山下勝将(2年)【女子】19位タイ：大谷菜々子(3年)、24位：江河鈴(2年)

○文部科学大臣杯争奪2019年度全国高等学校ゴルフ選手権大会(8/9～10セントラルゴルフクラブ西コース)【第63回女子個人の部】優勝：山下美夢有(3年)

■卓球部

○2019年度全日本卓球選手権大会(ジュニアの部)大阪府予選(9/14堺市立原池公園体育館)優勝：川村康人(3年)、ベスト8：本田凌翔(2年)、藤原大輝(1年)

※川村、本田、藤原の3名は2019年度全日本卓球選手権大会(ジュニアの部)出場決定(R2.1/13～19 丸善インテックアリーナ大阪)

○第72回大阪高等学校新人卓球大会〈シングルスの部〉兼近畿高等学校新人卓球大会大阪府予選(9/23堺市立金岡公園体育館)準優勝：川村、3位：山道和貴(2年)、本田 ベスト8：立藤亜斗夢(2年)、藤原

※山道、本田、立藤、川村、藤原の5名は第34回近畿高等学校新人卓球大会出場決定(12/20～21グリーンアリーナ神戸)

■陸上競技部

○令和元年度全国高校総体(8/4～8 タビック県総合ひやごんスタジアム)【男子砲丸投】優勝：アツオビン・ジェイソン(2年)

○大阪ユース大会(8/12～14長居競技場)【男子砲丸投】(最優秀選手賞受賞)1位：アツオビン【女子5000m競歩】3位：藤野楓(2年)【女子円盤投】2位：澤野花菜(1年)

○私学総体(8/19～20長居競技場)男子総合2位、女子総合6位

○近畿ユース大会(9/13～15紀三井寺陸上競技場)【男子砲丸投】大会新記録1位：アツオビン【2年女子5000m競歩】2位：藤野

○U18日本陸上競技選手権大会(10/18広島広域公園

【女子団体戦】：ベスト4

○第63回全日本大学空手道選手権大会(11/10スカイホール豊田)【男子団体組手】出場【女子団体組手】2回戦出場

■アメリカンフットボール部

○関西学生アメリカンフットボールリーグ(8/30～12/14各スタジアム)【Div.3】Bブロック：2位(11/29現在)

■サッカー部

○関西学生サッカーリーグ(9/14～11/24各フィールド)【1部】10位(11/29現在)

■ラグビー部

○関西大学ラグビー(9/7～11/24各大学)【Bリーグ】：2位

■バドミントン部

○2019年度秋季リーグ戦大会(9/10～19各大学キャンパス)【男子2部】7位【女子2部】4位

陸上競技場)【砲丸投】優勝：アツオビン ※これにより、8月に行われました全国高校総体との二冠を達成

■女子バスケットボール部

○令和元年度全国高校総体(7/28～8/2サンアリーナせんだい他)3位入賞(3年連続)

○第72回大阪高等学校バスケットボール選手権大会(8/24～10/20金岡公園体育館他)準優勝 ※ウィンターカップ出場決定

■男子バスケットボール部

○令和元年度全国高校総体(7/28～8/2サンアリーナせんだい他)出場

○第72回大阪高等学校バスケットボール選手権大会(8/24～10/20金岡公園体育館他)準優勝

■少林寺拳法

○大阪高等学校総合体育大会(9/8岸和田高等学校)【男子自由単独演武 有段の部】3位：中村真永澄(2年)【女子規定単独演武】4位：榎木まどか(2年)

■中高文芸部

○第22回高校生俳句甲子園・全国大会(8/16～18愛媛県松山市)全国第7位で「団体奨励賞」を受賞

■その他

○高円宮杯第71回全日本中学校英語弁論大会大阪府大会(9/30ギャラリーよみうり)堺市長賞：莫嘉遥(3年) ※11月に行われた全国大会に出場

最後に、個人的な話になりますが、取材中は冷える日も多く、取材をしながら今年もキャンプの季節がやって来たな～と時折感じていました。キャンプの醍醐味は何といっても焚火です。焚火を見つめながらゆっくり流れる時間は心が穏やかになり、心身共に癒されます。皆さんもどんなに忙しくても自分なりのリラックスタイムを作ってください。秋のキャンプは最高ですよ。秋の山奥で飲むコーヒーはとても美味しいです。

NeOSU編集部 秋山



Faculty of International Studies

The Faculty of International Studies nurtures human resources that can cultivate communication skills, collaborate and coexist with people from different cultural backgrounds and contribute to local and international communities based on practical foreign language ability and solid Japanese language ability.

Department of International Studies

Students will not only learn languages such as English, Chinese, Japanese, French, German and Korean, but also the culture of each country and region to deepen their international understanding. From the second grade onward, students will deepen their expertise in accordance with the curriculum of the four model courses in English, Chinese, Japanese and International studies. In addition, short-term training and long-term study abroad programs will provide students with the opportunity of practical learning overseas according to their needs.

The Department of International Studies nurtures people of sensibility that can contribute to creating multicultural societies both in Osaka and Japan overall and to creating an affluent and peaceful international community that includes professionals in various languages, English and Japanese teachers, and those working in the service industry, organizations related to international cooperation, overseas operating companies and more.



2019年
12月20日
発行

発行元：学校法人大阪産業大学 総務部 総務課
〒574-8530 大阪府大東市中垣内3丁目1番1号
TEL:072-875-3001 (代)
<https://www.osaka-sandai.org/>